



おくび

2016

3

NO. 737



～雪のケーキをどうぞ～

よく晴れた、絶好の雪遊び日和。「ママにケーキを作ってあげる」。女の子はそう言って、スコップでバケツに雪を入れ、ひっくり返してケーキの土台を作りました。その上に三角の雪のクリームを3つ載せて完成です。優しさが込められた真っ白なケーキとママへの笑顔がまぶしい、すてきなひと時でした。

子育てしやすいまちを目指して

～地域全体で子どもたちを育む体制づくり～



全国と同様に、本町においても出生率が下降傾向にあり、少子化への対応が課題となっています。このため町では、気軽に相談できる体制の整備や、保育料の軽減、中学生までの医療費の無料化など、子育てしやすい環境づくりに力を注ぎました。今回は、特に幼児の子育て支援体制を紹介するとともに、これからの子育て支援のありかたについて考えます。

子育て支援センターは 子育ての相談の場

町では、妊娠・出産・育児と段階に応じた相談対応などの事業の実施や、様々な経済的負担の軽減対策により子育てを支援しています。さらに、子育て支援センターを設置し、日常的に活動しています。

支援センターは、子育て家庭への育児支援と地域全体で子育てを支援する基盤づくりを推進するために平成14年度に設置されました。主に入園前の子どもと保護者を対象として遊びの場の提供を行い、保護者同士の交流と育児に関する情報交換や悩み相談の場として機能しています。

平成26年度からおぐに保育園内に常設し、衛生面や安全面において子どものための環境が整えられ、遊びの場の提供が容易になったほか、平日はいつでも子育て相談ができるようになりました。また、月に一度、子育てに役立つ様々な分野の情報を提供する「子

育て講座」を開催しています。支援センターの担当保育士は、支援センターの役割について、次のように話されました。

「利用者のうち、0歳から1歳の子どもを持つかたは、保護者同士の情報交換の場としての役割が大きくなっています。特に初めての子どもを持つた保護者は不安を感じることが多いので、先輩から話を聞く場として利用していただき、利用者同士のつながりをつくる場にしてもらえたらと思っています。1歳から2歳になると体を動かして遊びたい子どもが多いので、情報交換だけでなく『家では狭いから広いところで遊ばせたい』というかたも来られます。また、町内には転勤や結婚をきっかけに町外から来られたかたが多く暮らしていますが、その方々が孤独を感じて子育ての負担を抱え込むことがないように、気軽に利用していただけたらと思っています」

3人の子どもを持つお母さんで4年前から通っている遠

特集 子育てしやすいまちを目指して ～地域全体で子どもたちを育む体制づくり～



遠藤佐裕美さんと悠壽（ゆうし）くん

藤佐裕美さん（大宮）に、支援センターを利用し始めたきっかけなどを伺いました。「私は町外出身で友達もいなかったんで、上の子が生まれて1歳になるまではずっと家にいることが多く、息抜きが必要な状態でした。支援センターのことは親戚から聞いて知ったのですが、どんなところだろう、どんな人がいるんだろう、ちゃんと話ができるだろうか、といった不安が大きく、利用するまでにとっても勇気が要りました。支援センターに来てみたら、自分の子と同年の子がいて、



2月9日の「子育て講座」。町立病院の看護師が子どもの病気について話をした

自由に遊ばせられますし、他のお母さんやおばあちゃんと気楽に話すことができました。子どももよく遊んでくれるので、参加した日の午後はよくお昼寝してくれて助かります。『子育て講座』では、楽しく料理を作ったり子育てにいかせる話を聞くことができます。その間、自分で子どもを見ながらでも託児してもらいながらも、安心して講座に参加することができます」

語りかけで絵本の読み聞かせを行う「ブックスタート」なども実施しています。

子どもたちの可能性を広げるために

町では、幼児のときから運動や英語に親しみ、その後の健やかな成長に繋がるとともに個々の可能性を広げるための事業を展開しています。

一つは、遊びを通じて英語に親しみ、感性を磨いて英語への好奇心を伸ばすことを目的とした、「英語ふれあい事業」です。平成25年度から、月に1回から週に1回程度、各保育園で英語を使った遊びや歌の活動を行っています。平成27年10月に行われた小国小学校学習発表会では、1年生が英語の歌を披露してALITの先生方から高い評価を得るなど、少しずつ成果が表れてきました。平成27年度からは、さらにおぐに保育園で毎朝英語を使って遊ぶ時間を設け、英語とふれあう機会を広げています。



「幼児運動教室」（すみれ保育園）の様子
楽しみながら体を支える力をつけていく

もう一つは、平成27年10月から始まった「幼児運動教室」です。これは町のスポーツ推進計画に基づく事業で、遊びを通じて楽しみながら運動し、バランス機能や筋力などの基礎的な身体能力を高め、小学校以降の運動能力向上に繋げることを目的としています。各園で月に1回程度の実施ですが、今後の可能性として、必要な運動を取り入れた遊びを日常的に行うことで、運動に興味を持ち、多様性を持った身体能力の向上が期待できます。

特集 子育てしやすいまちを目指して ～地域全体で子どもたちを育む体制づくり～

各保育園の園児たち

保育園は本来、基本的な生活習慣を身に付け、集団生活の中で、人としての基礎を形成することを目的とした場所ですが、各園では、より多くの遊びをつうじて、子どもたちの心と体の豊かな成長を助ける取り組みを行っています。

おぐに保育園

おぐに保育園では、子育て支援センターが併設されているため、園児と、入園前の子どもたちと保護者との交流が盛んに行われています。また、3歳児から5歳児までが合同でひとつのを行う時間が



おぐに保育園
3～5歳児と、叶水保育園児との交流保育

多いため、年中児は年長児の姿を見て、自分たちで縄跳びやフラフープなどを覚えていきます。

叶水保育園

叶水保育園では、普段から小学生との交流が活発で、少人数ながらも叶水小中学校の文化祭や運動会、また地域のイベントなどに保育園児が参加するなど、地域全体で子どもたちの成長を見守る体制ができています。毎週2回、おぐに保育園との交流保育を実施し、多くの子どもたちとの遊びを体験しています。

白百合保育園

白百合保育園（舟山まさ園



叶水保育園
小学生が放課後になると保育園に遊びに訪れる

町が行っている子育て支援

予防接種費用助成

乳幼児および児童生徒の定期接種及び一部任意接種費用の助成

妊婦健診費用補助

全14回（妊娠12週前後～40週前後の健診）分の健診費用を助成

出産支援金

母子手帳の交付を受けたかたに、お祝い金2万円と白い森商品券3万円分を贈呈

未熟児養育医療給付

養育のため入院が必要な未熟児に対し、医療に要する費用を支給

妊産婦歯科検診費用助成

母子手帳交付時から産後6カ月が経過する日までの間、1回分の費用を全額補助



ブックスタート

4カ月児健診の際に、乳児の心の発達に大切な、優しい声での語りかけで保育士が読み聞かせをし、本を贈呈

両親学級

妊娠されたかたとその配偶者のかたを対象とした、妊娠・出産・育児に関する学習

特定不妊治療費助成

不妊に悩み、不妊治療を受けている夫婦を対象に、国及び山形県が実施する特定不妊治療助成制度に上乗せして助成



タッチケア

生後2か月から歩く前の乳幼児を持つ保護者を対象に、専門の指導員が赤ちゃんとの触れ合い遊びやベビーマッサージを指導

妊産婦さん相談

妊娠中の体や胎児のこと、産後の体と心、授乳の方法や乳房に関する悩みなどの相談。初回の相談費用を町が負担

風しん抗体検査・予防接種費用助成

妊娠を予定または妊娠している女性とその家族を対象に、風しん抗体検査及び予防接種費用を助成

（平成28年2月末現在）

特集 子育てしやすいまちを目指して ～地域全体で子どもたちを育む体制づくり～



白百合保育園
広大な園庭で遊びまわる子どもたち



すみれ保育園
サクラマス放流など、様々な体験活動を行う

すみれ保育園
すみれ保育園（五十嵐友明園長）では、様々な体験を通して子どもたちの感性を育てていくことを大切にしており、鼓笛隊を編制して発表の場を設けたり、サクラマスの放流事業などの体験活動に参加し、積極的に地域と関わる活動を行っています。

（長）では、自然豊かな本町の中でも、車の往来や近隣を気にせず自由に遊ぶことのできる広大な園庭を有しています。園児が自然と向き合うなかで高められる感性と、自然観察から生まれる好奇心や行動力を大切にしています。

誰もが安心して
子育てできる環境を

これまでに、誰もが安心して子どもを産み、健やかに育てることのできる環境整備に取り組んできましたが、仕事と子育ての両立を支援する環境の整備や、多様化する保育ニーズへの対応が課題となっています。このことから、町では、本町における子どもや子育て家庭の状況と地域の実態を踏まえ、子どもの健やかな育ちと、保護者が子育てや子どもの成長に喜びや生きがいを実感できる環境づくりを進めていきます。

母子家庭等修学費援助

母子家庭・父子家庭及び父母のいない家庭で養育されている小・中・高校のいずれかに在学している児童生徒の修学費を援助

ファミリー・サポート・センター

子育てのお手伝いをしてほしいかたとお手伝いしたいかたが会員登録し、会員相互により援助活動を行う

新生児訪問

生まれた子どもと産婦さんを対象に保健師が家庭を訪問し、発育・発達や育児相談などを行う

ひとり親家庭等医療給付

18歳以下の児童生徒を扶養している、ひとり親家庭等を対象に医療費を全額助成

子育て支援医療給付

0歳児から中学3年生までの医療費を全額助成

乳幼児健康診査

4カ月児・1歳児・1歳6カ月児・3歳児の健康診査、2歳児の歯科健康診査

児童扶養手当

ひとり親家庭等で父もしくは母または養育者に対し、一定の条件を満たした場合に手当を支給

児童手当

中学校卒業までの児童生徒を養育しているかたに対し、児童の年齢等に応じて手当を支給

就学援助

町立小・中学校在籍の児童生徒がいる世帯で、就学が困難な家庭に、学用品や給食にかかる費用を援助

保育料の軽減

18歳未満の児童が3人以上いる世帯の第3子以降の保育料無料。また、同時入所以外の第2子の保育料半額助成



（４）総合的な雪対策をはじめとする「住みよさ」の追求

冬季間の除雪は町民生活を支える重要な施策であることから、きめ細かな除排雪体制の整備や高齢者にやさしい除雪の推進を図るとともに、新たな除雪の仕組みづくりに努め、除雪推進とあわせ総合的な取り組みとして、周辺の雪処理に対する不安の解消につなげます。

→①除雪体制の充実 ②除雪にかかる新たな仕組みづくり

（５）環境への配慮と里山景観の保全

ごみの減量化や再生可能エネルギー資源の効果的活用を図るなど、環境に配慮した循環のシステム構築に向け、取り組みを加速させます。一方、美しい田園、豊かな里山景観の保全を目指し、環境・景観を守るため継続的な取り組みを進め、小国らしさを誇りとした発信力を高めていきます。

→①環境に配慮した生活の促進 ②美しい田園、里山景観の保全

（６）地域ごとの特性に応じた住民主体の地域づくりの促進

基本構想で示した6つの地域づくり基盤と地域別テーマに基づき、それぞれの地域特性を活かした地域づくりのための環境づくりに努め、地域における担い手の育成とともにまちづくりの主役である町民の主体的な活動展開を図ります。

→①地域における主体的な地域づくりの展開②地域づくりの担い手育成

（７）多様な主体の参画による「小さな拠点」づくりと集落ネットワーク圏の形成

地域づくりにおいて外部人材も含めた多様な主体の参画を促進するとともに、集落や地域内の生活サービス機能とコミュニティ機能をあわせもつ「小さな拠点」づくりとそのネットワーク化を通じて、町民生活における安定確保と地域の活性化に向けた取り組みを推進します。

→①「小さな拠点」に基づくコミュニティ機能再生の促進 ②地域間の連携強化

（８）地域づくりを促進する仕組み（「山の暮らし伝承創造機構」）の構築と推進拠点の整備

知恵と技の継承、発展を図るための「山の暮らし伝承創造機構」の創設に向け、引き続き取り組みを進める一方、その母体となる体制や機能を内包する、新たなまちづくり拠点の整備を目指し、計画的な事業推進を図ります。

→①地域づくりをコーディネートする「山の暮らし伝承創造機構（仮称）」の創設 ②多面的な機能を有するまちづくりの新たな拠点の整備

【２】移住・交流促進プログラムの推進

■移住交流プログラムの一体的な取り組み推進⁽³⁾

- ①移住相談員の設置 ②移住セミナーの開催
③お試し居住の実施 ④住宅の斡旋・紹介

■インバウンド事業の促進

■孫ターンの促進

■パッケージ型新規就農支援システムの構築

■起業・創業支援の充実（相談、助成金、斡旋）

■多様な働き方を進めるための調査の推進

■首都圏等における小国町出身者（関係者）の新たな組織化

■小国高等学校魅力化プロジェクトの推進

- ①林業科やコミュニティビジネス科等学科新設の提案・要望 ②新たな奨学金制度の創設等



【３】多様な主体による協働・交流・連携のまちづくりの展開

■ネイチャリングタウン構想の推進（自然学習活動の促進）

■地域づくり計画策定支援⁽⁴⁾

■6つの地域づくり基盤による地域づくりの展開

■「地域おこし協力隊」の受け入れ推進

■大学生サークルとの連携強化による地域づくり事業の展開

■新たな地域づくり交付金の創設

■「小さな拠点」づくりの推進と交流拠点施設の改修

■「山の暮らし伝承創造機構（仮称）」の創設と活動の推進

■「山の暮らし伝承創造センター（仮称）」の整備推進

■道の駅機能の拡充

基本方針3 安心、安全な暮らしの実現

町民の生活に寄り添いながら、生活環境などにかかる基盤整備を着実に進め、支えあいなどを中心とした取り組みとあわせ、暮らしやすさの確保に努めます。また、地域による主体的な地域づくり活動を積極的に促進する中で、「小さな拠点」づくりや地域間連携の推進など新しい取り組み方向を導入し、コミュニティ機能の保全、強化を目指します。

数値目標（成果指標）	現状値（基準値）	目標値
「小国町に愛着がある」人の割合	57.4%（H27）	70%（H31）
「小国町に住み続けたい」と思う人の割合	47.6%（H27）	70%（H31）
地域活動への参加意向	23.4%（H27）	50%（H31）

施策の基本方向と具体的な施策の内容

（1）生活基盤・社会基盤の整備

町民生活の安定に必要な生活基盤、情報・交通基盤の整備、地域公共交通の確保に向け、確実な取り組みを図るとともに、現存する社会資本を継続的に維持、活用していくための対策を進めます。

→①生活基盤の保全と情報・交通基盤の整備 ②社会資本の長寿命化の促進

（2）医療介護体制・防災体制の充実

町立病院の医療体制、民間事業者を含めた介護体制の保持、充実を図り、町民のニーズに的確に対応する医療、介護サービスの提供に努めます。また、自然災害などから町民の生命、財産、生活を守り、安全・安心な暮らしを維持するための取り組みを図り、災害に強いまちづくりを目指します。

→①医療介護体制の充実 ②安心、安全な生活の確保

（3）健康づくりの促進と高齢者福祉の推進

町民の主体的な健康づくり活動に向けた取り組みのほか、多様な手法による健康づくりの仕組み構築を進めます。さらには、高齢者が地域において安心して生活できるよう、地域包括ケアシステムの拡充をはじめ、各関係機関や地域との連携、一体となった高齢者の生活支援を推進します。

→①保健、福祉サービスの充実 ②高齢者の見守り体制の強化

戦略プロジェクト 重点的に取り組むべき施策を、戦略プロジェクトとして展開していきます

小国町総合戦略では、町民の意向を踏まえながら重点的に取り組むべき施策を3つの戦略プロジェクトとして設定しました。集中して展開することにより、基本方針と基本的な方向の実現、人口ビジョンに掲げた政策効果の発揮を目指します。

総合戦略策定メモ

～小国町地域創生総合戦略策定懇話会で
提案された取り組み～

- (1) 農業だけでなく多様な就業形態を提案しながら新規就農者を確保（雇用創出部会）
- (2) 双方向による情報発信、情報共有（結婚・出産・子育て部会）
- (3) Iターン者への支援の充実（人の流れ創造部会、結婚・出産・子育て部会、地域創造・暮らし安心部会）
- (4) 地域が自ら地域をデザインし地域の未来図を描く取り組み（地域創造・暮らし安心部会）

※総合戦略策定懇話会の様子については、広報おぐに12月号に掲載しています。

【1】若い世代のしごとづくりと子育ての支援の充実

- 小国町の自然環境、地域資源に基づいた活動を目指す企業・研究所等への情報発信
- 起業・創業支援の充実
 - ①相談 ②助成金 ③斡旋
- 多様な働き方を進めるための調査の推進
- パッケージ型新規就農支援システムの構築（1）
 - ①住宅確保 ②営農指導 ③農地・農機具貸与 ④農業以外の収入確保策
- 再生可能エネルギーを活かした農村ビジネスモデルづくりの推進
- 「白い森の国おぐに」ブランドの構築推進
- SNSを活用した子育て情報の発信（2）
- 保育施設の整備と子育て家庭向け住宅支援の推進
- 高校生までの医療費無料化
- 学校給食費負担軽減策の構築
- 白い森学習支援センターの活動充実

小国町議会臨時会

平成28年第1回小国町議会臨時会が、2月9日に開会されました。平成27年度一般会計補正予算などが審議され、原案のとおり可決されました。主な内容は次のとおりです。

一般会計に

855万4千円を追加
一般会計では、今冬は例年になく暖冬であるものの、道路の除排雪に加え異常気象により発生している雪崩の除去

作業や未然防止対策が急がれるほか、高齢者等暮らし応援事業において今後の増加が見込まれることから、所要の経費855万4千円を追加し、補正後の同会計の予算総額は6億6320万6千円となりました。

専決処分の承認

マイナンバー法の施行に際し必要な小国町国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について、12月28日に専決処分を行いました。これについて報告し、承認されました。

後期高齢者医療保険の保険料率が変わります

後期高齢者医療制度の保険料率は、医療費などの推計を基に、2年ごとに見直しを行っています。

平成28、29年度の保険料率は、平成26、27年度と比べると医療費等の増加が見込まれるため、次のとおり改定されることとなりました。

■保険料率の改定内容

	H26・27年度	H28・29年度
所得割率※1	7.84%	8.58%
均等割額※2	3万9,500円	4万1,700円
賦課限度額※3	57万円	57万円

※1 所得割率：所得に応じて負担していただく分を算定する際の率

※2 均等割額：加入者が公平に負担していただく分

※3 賦課限度額：年間保険料の最高額

◇均等割保険料の軽減対象が拡充されます。

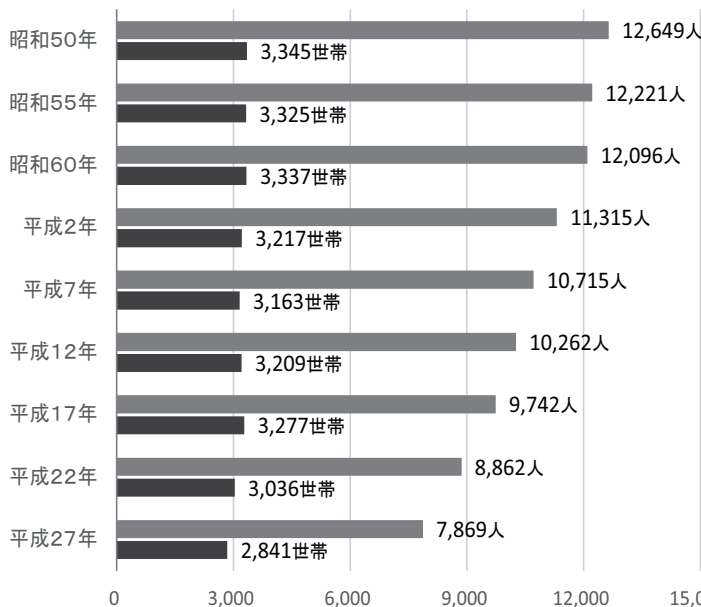
保険料率の詳細は、7月に保険料額決定通知書とともに送付されるリーフレットに記載されますのでご確認ください。

■問合先 町民税務課国保医療担当へ

平成27年国勢調査 速報結果

町の人口は7,869人、世帯数は2,841世帯（平成27年10月1日現在）

町の人口と世帯数の推移



昨年10月に実施した国勢調査の結果、前回調査の平成22年と比べると、人口は993人の減少（11.2%減）、世帯数は195世帯の減少（6.4%減）となりました。また、一世帯あたりの人員は2.77人で、平成22年の2.92人と比べ0.15人の減少となりました。

今回の調査から導入されたインターネット回答世帯数は、2,841世帯のうち605世帯（21.3%）でした。

■国勢調査 人口と世帯数

調査年	人口	世帯数	対前回調査比	
			人口	世帯数
平成17年	9,742	3,277	－ 5.1%	2.1%
平成22年	8,862	3,036	－ 9.0%	－ 7.4%
平成27年	7,869	2,841	－ 11.2%	－ 6.4%

注1）この結果は、平成27年12月21日に山形県が公表したものであり、今後、総務省統計局から公表される数値と異なる場合があります。

注2）「一世帯あたりの人員」は、総人口を総世帯数で割った数値です。

川井 眞和さん 山形県消防職員意見発表会 最優秀賞受賞



井眞和さん（兵庫館）が最優秀賞を受賞しました。川井さんは、自らが父親になるにあたり、子どもを守っていかれるかという不安から、子どもが万が一のときの対処方法を示した「赤ちゃん救急ポスター」を提案しました。

第37回山形県消防職員意見発表会が2月5日に山形市東部公民館で開催され、西置賜行政組合消防本部消防士の川

今後、4月に仙台市で開催される東北支部消防職員意見発表会で、山形県代表として出場する予定です。

今 謙悦さん 農林水産大臣表彰



小国町統計調査員の今謙悦さん（尻無沢）が、

2015年農林業センサス功績者農林水産大臣表彰を受賞されました。

今さんは、昭和40年から51年間13回にわたり農業センサスの統計調査員として従事され、正確かつ丁寧な調査により他の調査員の模範となりながら、農業政策、振興に大きく貢献しました。

～町長室便り～
雨二モマケズ³⁸

白い森に集う世界の若者

盛田 信明



本年2月には、白い森の国に世界16カ国の若者達が集いました。あたり一面真っ白な冬の小国町で、本町の自然や食、伝統文化に触れ、感動していました。2月6日、7日は、中国、韓国、台湾、インドネシアなど東南アジアからの留学生15名が来町し、スノーモービルや雪中散策など雪の小国を体験していただきました。また、9日、10日には、ミラノ万博出展参加をきっかけとして、イタリア食科学大学の一団17名が来町されました。イタリア、イギリス、ロシア、ポルトガルなどヨーロッパの学生が地酒に酔い、郷土料理に舌鼓を打っていました。さらに、「地域資源活用域学連携事業」では、今年度最終合宿が11日から17日までの間に行われ、16日には事業発表会が行われました。早稲田大学、法政大学、岩手大学、千葉大学の学生18名が参加し、若い柔軟な発想で町づくりの提案をしてもらいました。さらに、地域おこし協力隊として、東京都出身の宮崎美穂さんをお願いし、活動していただくことになりました。



▲アジア留学生とノーザンツールの対面



▲研修に訪れたイタリア食科学大学の学生たち
▲地域資源活用域学連携事業参加学生による事業発表会



小国町スポーツ講演会 庄司秀幸氏が講演

平成27年度「小国町スポーツ講演会」が、1月30日におぐに開発総合センターで開催されました。山形県立山形中央高等学校野球部監督の庄司秀幸氏が「スポーツを通じての人づくり」と題して講演し、約180人が参加しました。



庄司氏は、自身が監督を務める高等学校が、4度の甲子園出場を果たし、山形県の公立高校として初のベスト16に進出したことや、プロ野球選手を4名輩出したエピソードを交えながら、「スポーツを通じて、感謝する心を育てていくことが大切です」と話されました。

地域おこし協力隊 が着任しました！



名前	宮崎 美穂
年齢	24歳
出身地	東京都
活動地域	町中心部



2月12日、宮崎美穂さんに町長から地域おこし協力隊の辞令を交付しました。宮崎さんは東京都出身の24歳で、東北芸術工科大学を卒業後、東京での仕事を経て、この度本町の地域おこし協力隊として着任しました。主に特産品開発や商業振興に関わる活動を行います。

宮崎さんは「小国町は素敵なおとこ。もっと町外の多くの人に知ってもらいたい。そして町の人にとっても町を誇りに感じられるような場所を作りたい」と意気込みを語りました。

地域資源活用域学連携事業2月合宿

地域資源活用域学連携事業2月合宿が、2月11日から17日まで、町内各所で実施されました。これは、地域を大学の学びの場として活用するとともに、町外の学生の感覚で地域資源の魅力を再評価して町と大学双方の活性化を目指すもので、平成25年度から取り組んでいます。今回は、早稲田大学などの学生18人が参加し、地域のかたへの聞き取りや、雪国の生活体験などを行いました。16日に行った事業発表会では、3班に分かれて地域イベントの事業案や資源活用案などを発表し、川をテーマにしたイベントや農業体験を行う民泊イベントなど、学生らしいアイデアが提案され、今後、事業化を図っていきます。



平成27年度 みどり環境交付金事業

「白い森おぐに」森林理解と体験活動の取り組みについて



町では、山形県みどり環境税を活用して、森林や農林業への理解、自然環境保全の意識の醸成を図ることなどを目的とし、さまざまな事業を展開しています。ここでは、今年度の取り組み内容を紹介します。

白い森づくり体験事業



【植林教室】

町内小学生の親子を対象に、植林体験のほか、森林散策や、広葉樹の葉を使ったオリジナルハンカチづくりを行いました。

植林の必要性を学ぶとともに天然林の観察を通して森に関心を持ち、理解を深めることにつながりました。



植林体験



オリジナルハンカチづくり

森から拓く次代の生業づくり事業

【林業機械操作技術研修】

町内林業従事者がより安全に作業を行えるよう、町民を対象に刈払機やチェーンソーに関する安全衛生教育研修を行いました。



刈払機研修会



チェーンソー研修会

樽口峠一本桜維持保全事業



【樹木診断】

観光資源である樽口峠の一本桜が弱っていることから、樹木の維持保全のため、樹木医による診断を実施しました。



環境対策事業



森林資源を利用した生ごみのたい肥化を行い、環境にやさしく自然の活力を活かした作物の生産につなげる仕組みづくりに取り組んでいます。できた野菜の一部は、町内の保育園に給食の食材として提供しました。



作ったたい肥で野菜を生産

森林セラピー推進事業



森林セラピー基地「温身平」の機能と景観を保ち、訪れる方々が快適に森林セラピーを楽しめるよう、下草の刈り払いなどを行いました。



セラピーロードの整備

環境教育推進事業



【自然環境観察】

町内の児童生徒と保護者を対象に、森林散策の中で身近な生物や危険な生物について学んだほか、川に生息する生物などを観察する自然観察会を行いました。

【地域学講座】

町で採れた笹や山菜などの山の恵みを使用し、受け継がれてきた郷土料理の調理方法の伝承講座及び試食会を開催しました。



水辺の生物観察会



山の恵みを使った料理勉強会



小国産ブナで子ども用家具 ～東北芸術工科大学制作発表～

1月30日、白い森ショッピングセンターアスモにて、東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科2年生による、子ども用家具の制作発表会が行われました。これは、小国産ブナ材を使用して、町の子どもたちが生まれて初めて手にする家具を制作するという授業課題の中で制作されたものです。制作にあたっては、本町のブナ林散策や小国小学校の見学などが行われ、森と町の人々との深いつながりを学んだうえで、構想が練られました。発表会では、子どもたちへの想いやブナ材の良さが表現された作品の発表に、大きな拍手が送られていました。



冬の小国を満喫！

～スノーツーリズムモニターツアー～



地元のかたと一緒に雪灯籠を作る留学生たち

首都圏の大学に通う留学生を対象としたスノーツーリズムモニターツアーが、2月6、7日に、白い森交流センターリふれ周辺で行われました。タイやインドネシアなどからの留学生15人が訪れ、かんじきを履いた雪中散策や、雪灯籠づくり、歳頭焼き、スノーモービルなどを楽しみました。タイ出身で早稲田大学3年生のタナプッチボディー・ピヤヌッチさんは、「雪の体験ができて、地元の人とも触れ合えるということで参加しました。小国の景色がすごく綺麗で、どの体験も初めてのことばかりで楽しいです」と話していました。

昔の冬仕事にいそしむ

～むしろ織り講座～

むしろ織り講座が1月24、25日におぐに開発総合センターで開催され、町民など4人が参加しました。むしろはかつてゼンマイ揉みなど様々な用途に利用されていましたが、ブルーシート等の普及で織られなくなり、その製作技術や用具が失われつつあります。参加者は、2人1組となり呼吸を合わせながら1枚のむしろを織り、普段触れる機会の少ない藁の感触を楽しんでいました。



お客様を明るくお出迎え ～小国中学校美術部 観光看板寄贈～

2月1日、小国中学校美術部（阿部朋子部長）が制作した観光看板が、道の駅白い森おぐにに寄贈されました。部員8人が自主的なボランティア活動として3カ月かけて制作したもので、カモシカ、クマ、ブナ林、ワラビの可愛いキャラクターと、その背景に飯豊山が描かれています。3年生の須貝芽生（めい）さんは、「私たちも町のために何かしたいと思い、制作しました。道の駅を訪れたかたに、小国の良いところを知ってもらいたいです」と話してくれました。



一票が、明るい未来の第一歩 ～小国高等学校 模擬投票～



選挙啓発出前講座が2月8日に小国高等学校で行われ、3年生38人が模擬投票を体験しました。これは、平成28年の夏に予定される国政選挙以降の選挙から、投票者の年齢が満20歳から満18歳に引き下げられることを受け、高校生が投票の大切さを知り、選挙への関心を高めることを目的に、町選挙管理委員会が実施したものです。高校生は、投票方法を確認めながら、有権者になる意識を高めていました。



緑のふるさと協力隊 窪田 ともなり 智成



「域学連携事業」

豪雪の町である小国も、今年は例年の半分ほどしか雪がなく、地域の人たちからは除雪がとても楽だという声が聞こえてきます。長崎出身の私にとっては、十分「豪雪」なのですが・・・。

さて、私は2月11日から17日まで、早稲田大学等と地域が連携して町の活性化を目指す「域学連携事業」に参加しました。この事業は今年で3年目とのことで、今回は18人の学生が町内で合宿して、地域の方々からアドバイスをもらいながら、来年度実際に行う新たな事業の計画づくりに取り組みました。私も、北部地区で行う予定の「川の学校」の話し合いに参加させてもらい、都会では珍しい小国の生き物や昔からある魚の捕り方などを、学生と一緒に勉強させてもらいました。

学生の皆さんが長い時間をかけて考えてきた計画なので、地域の方々の意見を聞きながら、学生の目線で小国町の良い部分をたくさん引き出して、良い事業にしていってほしいと思っています。

募集

町営住宅入居者募集

《町営住宅あけぼの団地》

2DK 1戸（1階）

■家賃 所得と家族構成による

■対象 所得制限あり

《小坂町勤労者住宅》

2DK 3戸（1、2、3階）

■家賃 38000円

2K 1戸（2階）

■家賃 33000円

■対象 町内の事業所にお勤めのかた

■敷金 家賃の3カ月分

■募集期限 3月10日（木）

■入居時期 3月下旬以降

■問合先 地域整備課建設管理室（☎62・2431）へ

国税専門官採用試験

■申込受付期間

《インターネット》

4月1日（金）～4月13日（水）

《郵送または持参》

4月1日（金）～4月4日（月）

■第1次試験日 5月29日（日）

※申込は原則インターネットから行ってください。持参

用受験申込書の請求は、最

寄りの税務署、仙台国税局

または人事院東北事務局へ

お願いします。詳細は国税

庁ホームページまたはお電

話でお問い合わせください。

■問合先 仙台国税局人事第

二課試験研修係（☎022

・263・1111）へ

ご案内

こころの健康相談

統一ダイヤルのお知らせ

3月は「自殺対策強化月間」

です。毎年、県の精神保健福

祉センターでは、こころの健

康相談を実施しています。

☎0570・064・556

3月1日（火）～3月7日（月）

午前9時～午後5時

■その他 右記の期間以外

は、（☎023・631・

7060）午前9時～正午、

午後1時～午後5時、（月）

（金）（祝祭日・年末年始を除く）で受け付けています。

町立病院 平成27年度採用 診療放射線技師 募集

～募集人員を満たすまで
募集を継続します～

■職種と人員

診療放射線技師 1人

■受験資格

昭和45年4月2日以降に生まれたかたで診療放射線技師免許を取得しているかた

■試験内容

作文試験、面接試験

■試験および採用日程

＝3月中申込みの場合＝

申込締切 3月31日（木）

試験日 4月11日（月）頃

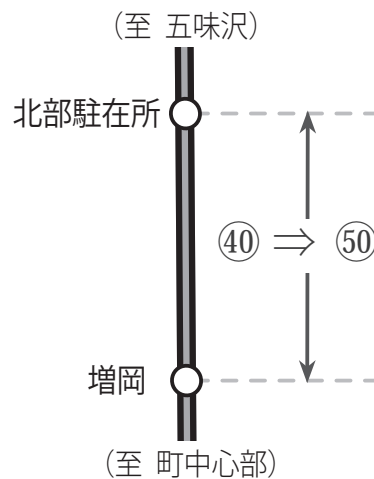
採用日 6月1日（水）頃

■その他

詳しくは町または町立病院のホームページをご覧ください。

■問合先 町立病院（☎61-1111）へ

県道五味沢小国線 交通規制変更のお知らせ



平成28年3月中旬から、県道五味沢小国線（北部街道）の増岡から舟渡間の最高速度規制が40キロから50キロに変更になります。通行するかたは、標識を良く確認し、安全運転をお願いいたします。

小国警察署（62-0110）

※日程が変更になる場合は、
アスモ掲示板でお知らせします。



3月の 保健カレンダー

1. 各健診の日程等

■ 4 カ月児健診

- ・期 日 3月11日(金)
- ・受付時間 13:10~13:20
- ・対 象 平成27年11月生まれ

■ 1 歳児健診

- ・期 日 3月11日(金)
- ・受付時間 13:00~13:10
- ・対 象 平成27年3月生まれ

2. 場 所 健康管理センター

3. その他 母子健康手帳を持参ください。

4. 問合先 健康管理センター (61-1000) へ

子育て支援センターから

♪あそびの広場♪

- 日 時 3月1日、8日、
15日、22日
午前9時30分~11時30分
- 対象者 入園前のお子さん
とお家のかた

♪赤ちゃん広場♪

- 日 時 3月10日、24日
午後1時~3時30分
- 対象者 生後4カ月から18
カ月のお子さんとお家のかた

♪ゆきんこ広場♪

- 日 時 毎週水曜日・金曜日
午後1時~3時30分
- ※3月11日(金)はブックスタートのためお休みとなります。
- 対象者 入園前のお子さんとお家のかた

♪なかよし広場♪

- 日 時 【毎週月曜日・木曜日】
午前9時30分~11時30分
午後1時~3時30分
- ※第2、4木曜日の午後はお
休みとなります。
- 【毎週火曜日】
午後1時~3時30分
- 対象者 入園前のお子さん
とお家のかた



求 人 情 報

右の表は2月19日現在でハローワークへ登録された求人のうち、小国町をおもな就業先としている求人情報です。既に雇用が確定している場合がありますので、ご了承ください。

求人情報の詳細については、ハローワーク長井 (☎84-8609) へ。

今月の納税 2016.3

3月の税金等の口座振替は、次のとおりです。振替日の前日まで、指定の口座に入金してください。

● 3月28日(月) 水道料

● 3月31日(木)

国民健康保険税・後期高齢者保険料、介護保険料、下水道料、簡易水道料、住宅使用料、保育料、児童福祉使用料

■問合先

町民税務課税政管理室
(62-2403) へ

事 業 所 名	職 種	求人数	勤 務 時 間
おぐに白い森(株)	応接員	2人	7:00~19:00他
合 資 会 社 山 佐	セレモニーホールスタッフ	1人	8:30~17:30
	整備工・店頭販売	1人	8:30~17:30
U T E イ ム (株) 新 潟 オ フ ィ ス	(派) 半導体用治具の製造 作業	3人	0:30~8:45他
日 本 重 化 学 工 業 (株) 小 国 事 業 所	機械整備・修理スタッフ	1人	8:15~17:15
	電子材料の製造スタッフ	5人	8:15~17:15他
社 会 福 祉 法 人 会 小 国 福 祉 会	介護員(正社員・非正社員)	各1人	6:30~15:30他
	看護師(常勤正規職員)	1人	8:00~17:00他
大 河 内 産 業 (有)	ダンプ・重機運転士	1人	8:00~17:00
	一般事務員	1人	8:00~17:00
	砂利プラント運転士	1人	8:00~17:00
(株)小国タクシー	タクシー運転手 【1種免許のみでも相談可】	1人	6:30~18:00他
安 部 工 業 (株)	現場監督員	2人	8:00~17:00
	運転手	2人	8:00~17:00
小 国 町 森 林 組 合	伐採・集材・造林・保育作業員	3人	7:30~17:00
	(臨) 直売所販売・作業員	1人	8:00~17:00他
社 会 福 祉 法 人 会 白 百 合 保 育 園	保育士	1人	8:30~17:00他
北 伸 自 動 車 工 業 (株)	自動車修理工【急募】	1人	8:20~17:20
(株)小国いきいき街づくり公社	販売員	1人	9:00~13:00他

※先月号掲載分以降に新規で登録された求人を掲載しています。

☆町ホームページでは、求人情報のほか、職業訓練情報、仕事に関する相談・講習会などについてお知らせしています。ご活用ください。

(町ホームページアドレス: <http://www.town.oguni.yamagata.jp/>)

奨学金の貸与を受けている若者の 本町回帰を支援します

町では、若者の本町回帰・定住を促進するため、山形県と連携して、奨学金の貸与を受けている大学生等に対し、奨学金の返還支援事業を実施します。

■対象者 ①町内に居住し、県内の高等学校、特別支援学校高等部、専修学校高等課程を今年度卒業見込みである者、又は卒業した者で、②国内に所在する大学等に来年度進学予定、又は在学中で、③日本学生支援機構の第一種奨学金の貸与を受けている、又は受ける予定である者

■助成内容 大学等を卒業後、6カ月以内に町内に居住して県内に就業し、かつ3年以上居住、就業を続けた場合に、奨学金返還残額に対して助成します。

※上限額があるほか、このほかにも条件がありますので、応募の際にご確認ください。

■募集期間 平成28年3月10日（木）まで

■問合せ・応募先 総務企画課政策企画担当

民間国際交流団体活動推進事業 を応援します

（公財）山形県国際交流協会では、県内の民間団体が行う地域の国際化を推進する事業に対し助成を行います。

■対象事業 4月1日から平成29年3月31日の間に実施するもの

■助成額 上限申請額は20万円（1団体あたり）

■申請期間 6月15日（水）まで

※ただし、4月から6月末にかけて実施予定の事業については、3月31日（木）までに申請してください。

■その他 渡航費のみの申請や対象が会員のみなど、波及効果の低い事業と判断される経費は対象になりません。

■問合せ先 （公財）山形県国際交流会
山形市城南町1-1-1霞城セントラル2階
（☎023-647-2560）へ

総合センター図書室から

～新着図書～

休館日 毎週月曜日・祝日

◇魔女の封印	大 沢 在 昌
◇天下人の茶	伊 東 潤
◇啼かない鳥は空に溺れる	唯 川 恵
◇お伊勢まいり	平 岩 弓 枝
◇零戦	森 史 朗

相 談

▽年金相談

■日 時 3月16日（水）
10:30～14:00
■場 所 役場町民相談室
■対応者 米沢年金事務所職員
■申込み 事前に申込みが必要です。
■申込・問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽人権相談

■日 時 3月16日（水）
10:00～12:00
■場 所 健康管理センター
■対応者 町人権擁護委員
■問合せ先 町民税務課住民窓口担当へ

▽消費者相談

■日 時 3月26日（土）
10:00～15:00
■場 所 役場雇用相談室
■対応者 司法書士 舟山健蔵氏
■申込み 事前に申込みが必要です。
■申込・問合せ先 町民税務課町民生活担当へ

平成28年度の 健康保険料率が変わります

全国健康保険協会山形支部の健康保険料率が、平成28年3月分（4月納付分）より、現行の9.97%から10.00%に改定されます。

この改定により増加する負担額の目安は、
 ・月収24万円の場合…月額36円増
 ・月収40万円の場合…月額60円増
 となります。保険料は労使折半ですので、事業主のかたも同額の負担増となります。

なお、介護保険料については1.58%のまま据え置きとなり、介護保険第2号者（40歳から64歳までのかた）の保健料率は、健康保険料と介護保険料を合わせて11.58%になります。

■問合せ先 全国健康保険協会山形支部企画総務グループ（☎023-629-7226）へ



●小国町役場 ☎62-2111(代) fax62-5464

●行政管理室 ☎62-2112

●国保医療担当 ☎62-2261

●農林振興室 ☎62-2408

●建設管理室 ☎62-2431

●政策企画室・地域振興室 ☎62-2264

●税政管理室 ☎62-2403

●商工観光室 ☎62-2416

●建設技術室 ☎62-2432

●住民窓口担当・町民生活担当 ☎62-2260

●会計室 ☎62-2406

●議会事務局 ☎62-2448

「おきたま若手作家展」開催

絵画、工芸、写真、書道など幅広い分野の若手作家たちによる展覧会です。素敵な作品をご覧ください。

■開催期間 3月5日(土)～3月13日(日)
9時～19時まで

※7日休館、最終日17時まで

■会場 白鷹町文化交流センター
AYu:M (あゆーむ)

■内容 置賜地区で活動する若手作家の作品展示、作品等の展示販売、各種ワークショップ

■入場料 無料

地域の文化活動を応援します

置賜文化フォーラムでは、置賜地域の皆さんが平成28年度に企画運営する文化イベント等の事業を支援します。

■事業の例 置賜地域の文化資源を活用した文化事業、子どもたちによる文化芸術活動の発表や交流を行う文化イベント、市町の枠を超えた複数の団体による文化事業、次代の文化を担う人材の育成を目的とする事業

■支援内容 共催負担金(最大40万円)を負担します。

■募集締切 平成28年4月28日(木)

■申込・問合せ 置賜文化フォーラム事務局
(山形県置賜総合支庁地域振興課)
(☎0238-26-6018)へ

3月の あい貝イベント 第5回 MIXCUP フットサル大会



■日時 3月20日(日)祝 9:00～(8:30開場)

■対象 中学生以上

■持ち物 室内シューズ、飲み物、タオルなど

■参加費 1人500円(保険代込み)

■申込締切 3月9日(水)

■申込・問合せ
(☎62-5808)

おぐにYui
スポーツクラブ

くりえいと工房 再生品提供のお知らせ

千代田クリーンセンターくりえいと工房では、粗大ごみとして搬入された自転車や家具を修理再生し、展示および提供を行っています。

■提供品 自転車10台 家具類5点(1回毎予定数)

■応募方法 工房に備え付けの申込用紙により応募してください。抽選により当選者を選出します。

■時間 午前9時から午後4時まで

■料金 無料

	展示期間	公開抽選 ※午前10時	引取期限
第1回	4月6日(水) ～5月7日(土)	5月10日(火)	5月28日(土)
第2回	6月1日(水) ～7月2日(土)	7月5日(火)	7月30日(土)
第3回	8月3日(水) ～9月3日(土)	9月6日(火)	10月1日(土)
第4回	10月12日(水) ～12月3日(土)	12月6日(火)	12月24日(土)

■問合せ 千代田クリーンセンター施設第2係
高島町大字夏茂2933番地
(☎0238-57-4004)

入札結果情報 (平成28年1月21日～平成28年2月20日実施)

単位(円)

入札日	工事名	施行場所	工期(完了)	予定価格	落札業者	落札価格
H28.1.26	平成27年度小国町公共下水道事業公共下水道管路台帳作成業務委託	田沢頭	H28.3.25	1,194,000	(有)小国測量設計事務所	950,000
H28.1.26	平成27年度小国町水道事業水道管路台帳作成業務委託	水道給配水供給区域	H28.3.25	1,314,000	(有)小国測量設計事務所	1,100,000
H28.1.26	平成27年度小国町水道事業兵庫館地内消火栓設置工事	兵庫館	H28.3.18	1,397,000	山一住設(株)	1,350,000

※入札結果情報の金額は消費税及び地方消費税を含みません。



戸籍のまど

(1 月 届 出 分)

誕生おめでとうございます。

幸 町 加 藤 夢^{ゆめ}乃^の (伸 幸
裕 美)

小 国 町 井 上 碧^{あお}斗^と (祐 真
垂 沙 美)

小 国 町 塚 原 心^こ菜^な (宏 洋
梢)

黒 沢 保 科 愛^ら心^る (光 輝
美 涼)

おくやみ申し上げます。

東 原 金 澤 幸 盛 (85)

北 高 橋 敏 雄 (87)

幸 町 安 達 賢 市 (87)

伊 佐 領 佐 藤 百合子 (76)

東 原 高 橋 勝 (76)

叶 水 伊 藤 つ や (88)

栃 倉 羽 田 テツエ (72)

※この欄に掲載を希望しないかは、届出の際にお申し出ください。

人口のうごき (平成28年 1月31日現在)

人口 男・・・3,988 人 (－2)
女・・・4,129 人 (－4)
計・・・8,117 人 (－6)
世帯数 3,107 世帯 (－2)

編集後記

もてい日まと何空で降驟。の、るがしい処気すに。元は続たうまとね見これ。です。気やきこも雪朝れは凍した。にりましとも雪朝れは凍した。春病すばに歩ののる2雪先。をに。ら嬉い上澄現月渡日。迎も流くしてをみ象のり初。え注行はく行軽きだ中を。た意し寒なるそ旬を。いしていとたう以。

(姥原)

おぐにの手仕事

シリーズ⑪

ほうき作り

齋藤 力男 さん

五味沢在住



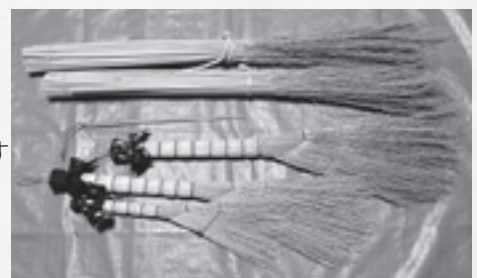
ほうき作り講座(教育委員会主催)で講師を務めている齋藤力男さんに、ほうき作りについて伺いました。

「昔は多くの家庭で作ったものだと思うが、今は作る人が少なくなった。祖父や父が作っているのを子どもの頃見ていたが、教わったことはないしほとんど覚えていないから、昔父親が作った古いほうきをほぐして、自己流で作り方を覚えた。物作りには材料作りがとても大切。材料が揃った形だと、速く、良いものができる。ほうき草は、茎は長く、太すぎず細すぎず、穂はあまり広がらず長くないものを選ぶ。また、穂にも固いものと柔らかいもの、縮れのあるものがあるので、その中でちょうど良いものを選び、翌年の材料の種を採る。肥料を入れるかどうかはそのときの生育によるから、観察しながら決める。道具も自分で工夫して、こうしたら作りやすいのでは、と考えながら作った。そうやって工夫しながら作るのがとても楽しい」

力男さんは、ほうきの他、つる細工なども手掛け、全て、材料の採取と加工を行い、こだわりを持って制作されています。

【材料】

ほうき草
1束がほうき1
本分の材料
竹
ほうきの芯にする竹



【完成品】

ほうき 大・小



【道具】

はさみ、ペンチ、針金、角材に紐をつけたもの(ほうきの柄をきつく絞る際に使用)、金づち、竹2本の両側をゴムで留めたもの(糸で縫う際の補助)